

会員に寄り添い、 地域の未来を切り拓く一年に ― 変化の時代に支援力で応える商工会へ ―



京丹後市商工会長
行待佳平

会員の皆様、並びに関係者の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は、商工会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、旧年は、食料品を中心とした物価高の長期化や、過去最高の引き上げ幅を記録した最低賃金の改定、米国による関税措置をはじめとする国際情勢の変化など、社会経済情勢が大きく揺れ動いた一年でございました。また、大阪・関西万博の開催や、我が国史上初となる女性総理大臣の誕生など、社会の転換点とも言える出来事が相次いだ一年でもありました。

当地域におきましても、原材料費やエネルギー価格の高騰、人手不足の深刻化などにより、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いております。本会では、こうした情勢を踏まえ、会員事業者の実情や課題を的確に把握するため「施策支援要望調査」を機動的に実施してまいりました。関係団体等と連携しながら、会員の皆様から寄せられた声を整理・分析し、国・府・市に対して要望として届け出る活動を行ってきたところであります。とりわけ、九月に実施した会員一斉訪問事業では、七四三事業所から人材不足の現状についてご回答をいただきました。これらを客観的かつ定量的な数値として取りまとめ、京丹後市議会へ提供するとともに、分析結果を共有することとで、地域経済の実態に即した施策立案につながるよう努めてまいりました。

また、京都府の経営・金融一体型支援体制強化事業や伴走支援体制強化等事業を活用し、宮津市以北二市二町で共有する特別経営指導員並びに専門的経営支援コーディネーター七名を本会に配置いたしました。金融機関等と連携した資金繰り・リスク支援をはじめ、コスト増に見合った価格転嫁の促進、省力化投資への対応、さらにはGX・DXを通じた事業変革による「稼ぐ力」の向上など、きめ細やかな経営支援活動を展開してまいりました。加えて、これらの経営支援活動を通じて支援能力の強化や、京丹後市商工観光部商工振興課への研修出向を通じて支援人材の育成など、人づくりにも積極的に取り組んで一年となりました。

なお、京都府では、支援事例の共有による資質向上等を目的として、中小企業応援隊員を対象とした表彰制度が実施されております。今年度の第一次選考においては、本会から二名の職員が上位十四事例に選出され、事例発表を行うなど、その支援内容についても一定の評価をいただきました。こうした高い次元での経営支援体制を維持・継続していくため、持続可能な運営体制(本支所)のあり方について、引き続き検討を進めてまいります。

一方、面的な活動といたしましては、将来ビジョン検討委員会にて策定したアクションプランを規範とした各部会活動や、エリアコミュニケーション事業を通じて、能であった猿楽(さるがく)を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育ててきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしながら結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっております。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、

未来に向けて輝き続ける 京都づくりに挑戦



京都府知事
西脇隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化

政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会となりました。「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥(ぜあみ)が「風姿花伝(ふうしかでん)」に残した後人への心得です。当時の大衆芸

能であった猿楽(さるがく)を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育ててきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしながら結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっております。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、

府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたかく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたかくい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支「午(うま)」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

「ささえあい、たすけあい、あたえあい、 誰もが喜びを豊かに育みゆくさ」へ ― 京丹後には、考えつくせないほどの夢や可能性、 豊かさへのタネが埋もれている ―



京丹後市長
中山泰

あけましておめでとうございます。皆様には令和8年の新春をすこやかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。昨年は、諸物価高騰が引き続く中、市民の皆様が安全・安心、生活や生業・事業を守り支える各種対策に奔走した一年でした。そして、市民一人ひとりが幸福を一層実感できる市民総幸福の発展に向け、「ふるさと納税」の推進、地域一体型オーブンプラクトリー、世界初となる「第1回世界長寿サミット」の開催、美食都市やヘルスツーリズムの展開、網野学校給食センターの完成、AI活用した認知症相談システムの導入、新コミュニティや公共ライドライドシアターの開演、市役所峰山庁舎2号館の供用スタートなど、各分野で取組みを全力で進めてきました。

現在、山陰近畿自動車道が、近い時期、市内最大の商業集積地域近郊の「都市拠点」地域に接続し、同時に、網野町から久美浜町までの延伸・全線ルートも決定も目前にきています。未来へこれを最大限に活かしていく。このため、各6町の中心的地域にそれぞれ「地域拠点」を設け都市機能の分担と生活機能の集積を促し、これを市域全体の発展を支える「都市拠点」との間で多彩なネットワークを進める。本市全体の活力と賑わいを発展させていく「大交流のまちづくり」と、どの地域でも安心と活力を増進することができ「多極・多彩で一体型のまちづくり」を、市民みんなで進めていく。いよいよそんな時代が

スタートしてきます！一方、現在、まちづくりの課題は山積しています。中でも、課題・困難は、きつと、解決策をその中に一緒に連れてきてくれている、と確信しています。「課題」という贈り物の中に秘められた宝物に感謝して、そこから解決策を見つけて取り出していく。社会課題を宝・資源に循環させていく、新・循環型のまちづくりを、市民の皆の力を合わせて進めてまいります。

京丹後市は、多彩な産業や人材、美しい自然環境、豊かな百歳長寿や食の資源、全国第一号の「美食都市」、そして「古代丹後王国」「日本のふるさと」の歴史文化など、これからの時代に求められる宝の原石、素晴らしい魅力にみちあふれています。京丹後は今、「時代の追い風」をいただいています。「課題・困難」は宝に化えて浮揚・発展の力にして、誰ひとりおきざりにされない、ささえあい、たすけあい、あたえあい、誰もが喜びを豊かに育みゆく里へ、皆で一緒に前進してまいります。

最後に今、世界では、中東やウクライナでの戦いがなお終結に至らず、ともに一刻も早い、戦いの停止と平和の回復を市民の皆様と共に心から求め、祈念をしております。

本年が皆様にとってますます喜びの多い豊かな年であり、こと心から慶び、お祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

女性部からの年頭挨拶



女性部長
山内 美幸

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平素は女性部の事業活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、京都府の最低賃金は過去最高の引上げ額となり、価格転嫁や生産コストの削減など、難しい経営課題と直面する年になりました。

また、円安等の影響による原材料費の高騰が依然として続いており、これらの課題に対応するには、経営の見直しや新たな市場の開拓そして、何よりも行政機

関による支援制度等の連携が求められていると考えます。

商工会は相互発展および地域発展を目的に活動しています。その活動の中で、成功事例や先進事例などの情報交換を行うとともに、事業者同士の連携による新たなサービスを創造するなど、スケールメリットを活かす土台となる関係づくりが重要であると考えます。そのため、会員同士の交流並びに会員拡充を積極的に行っていくことも重要です。

女性部事業を振り返りますと、昨年は役員改選があり、一部の役員が交代し、新たな気持ちでスタートいたしました。事業内容も新たな役員のもとで見直し、継続事業と新規事業を検討しながら、精力的に活動を展開してまいりました。

6月には丹後支部役員・部員とともに海岸清掃活動に参加し、7月には峰山支部役員とともに小西川の清掃活動に参加しました。また、部員間の親睦を図るため、神戸方面へ日帰り旅行に出かけ、交流を深めました。8月には健康増進事業として講師の先生をお招きし、誰もが無理な

く体をほぐし、歪みを整える指導をしていただきました。9月には、ゆかた・着物の着付け教室を開催し、三名の部員講師にご協力いただき、グループに分かれて着付けや帯の結び方をご指導いただくことで、楽しく着物の触れる機会を設けました。着付け教室の実践として峰山町の「こまねこまつり」に参加し、出店者の皆さんとの会話を楽しみながらワークシ

ップやショッピングを行うなど、ゆかた・着物の華やかさで地域のお祭りを盛り上げました。10月は毎年恒例の京丹後商工祭に商工会全体で取り組み、女性部は「さざえ飯」と「焼きそば」を販売し、会場を盛り上げました。今回は天候に恵まれなかった点は残念でしたが、ステージ前のパ

ンチには始終来場者が座り、出演者のパフォーマンスを観覧されている姿が印象的でした。11月には滋賀県高島市商工会女性部、福井県坂井市商工会女性部の皆様をお迎えし、交流事業を実施しました。限られた時間の中ではありましたが、京

丹後市の魅力を精一杯お伝えすることができました。交流事業については、回数を重ねる中で見えてくる課題も多く、今後は改善に向けて事業所や行政とより密に

連携しながら、事業の質の向上を図っていく必要があると感じました。

令和7年度の事業としては、1月に福祉貢献事業として特別養護老人ホームへのタオル寄付、2月にはオフアールをいただいている「おもてなし交流事業」の受け入れ等を予定しております。引き続き、一つひとつ丁寧に取り組んでまいりたいと考えております。

このように、女性部の事業活動は地域活性化の大きな原動力になっていると感じております。今後も地域経済により一層貢献できる活動を目指してまいりますので、皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びにあたり、本年も巡る変化を成長の機会と捉え、共に京丹後市がますます活性化するように活動してまいりましょ

う。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

女性部員募集中 私達と共に、女性部の活動に参加しませんか？

商工会女性部事務局 TEL:62-0342

青年部からの年頭挨拶



青年部長
小森 豊彦

あけましておめでとうございます。

地域の皆様方におかれましては、新年をお健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。平素より、京丹後市商工会青年部の活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は、新たに3名の青年部メンバーが加わり、新体制のもと活動をスタートいたしました。青年部は、「次世代育成」地域貢献「まちづくり」「研修」の各委員会を中心に、地域と人をつなぐ活動を展開してまいりました。

次世代育成委員会では、地域スポーツを通じて青少年育成を目的に、KYOTO TANGO UJESASおよび京都サンガF.C.の応援事業を実施いたしました。地元チームを応援することで、子どもたちが地域への誇りを持ち、選手たちの挑戦する姿から努力することの大切さや仲間と協力する意義を学ぶ機会となりました。

した。こうした経験が、未来を担う子どもたちの成長につながることを願っております。

地域貢献委員会では、令和8年1月24日(土)に丹後文化会館にて「響丹後〜Winter Smile Festa〜」を開催予定としております。本イベントは、寒い冬の中でも音楽やステージイベントを通じて地域に笑顔と活気を届け、人と人とのつながりを再認識していただく場としたいと考えております。多くの皆様のご来場・ご参加を心よりお待ちしております。

まちづくり委員会では、久美浜町湾博2025、峰山町夜の市、商工祭への出店を行い、あわせてビッグ大会の運営を担当いたしました。ステージには「OKYO」「小倉悠吾」「木下優真」の皆様をお迎えし、司会には義村歩美さんをお招きしました。多くの来場者の笑顔に触れ、地域イベントが持つ力と意義を改めて実感する機会となりました。

研修委員会では、11月に防災士によるBCP(事業継続計画)策定研修を実施し、災害時においても事業を継続し、地域を支える立場としての責任について学びました。

さらに、BC型補助金を活用し、石川県志賀町へ被災地視察研修を行い、実際の被災状況や復興に向けた取り組みを目の当たりにしました。現地では、甚大な被害を受けたながらも、前を向き、懸命に復興へ歩みを進める事業者や

被災の方々の姿に強い感銘を受けました。被災の記憶を風化させることなく、学びを自地域へ持ち帰り、今後起こり得る災害に備えるとともに、被災地に寄り添い続ける姿勢の大切さを改めて実感いたしました。

また、令和8年1月には、淡路島および香川県への視察研修を予定しており、災害から復興を遂げた酒造会社の視察を通じて、困難を乗り越える力や事業継続、地域再生の在り方について学ぶ計画としております。これらの活動を通じて、「人と人とのつながり」こそが、困難な状況においても地域を支え、前へ進む原動力になることを改めて強く感じた一年となりました。

青年部は、多種多様な業種のメンバーで構成されており、それぞれの専門性を活かしながら、地域に貢献できる存在であり続けたいと考えております。

これからも、先輩方が築いてこられた歴史に敬意を払いながら、地域とともに歩み、万が一の災害時にも力となる青年部を目指して活動を進めてまいります。

引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。令和8年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。以上、新年のご挨拶とさせていただきます。

45歳未満の若手経営者・後継者募集中!
申込・詳細は京丹後市商工会青年部事務局まで
TEL.0772-62-0342

壮青年部からの年頭挨拶



壮青年部長
小國 徳人

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より商工会壮青年部の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、原材料価格の高騰や人手不足、消費動向の変化など、地域事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いてまいりました。そのような中にお

いても、部員一人ひとりがそれぞれの立場で知恵と経験を活かし、研修事業や交流事業、地域行事への参画などを通じて、地域経済の維持・発展に貢献す

ることができたものと感じております。これもひとえに、関係各位の温かいご指導とご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

本年は、壮青年部の特性である「実務経験に裏打ちされた行動力」と地域を支える中核世代としての責任を意識し、部員相互の連携強化と資質向上に重点を置いた活動を進めてまいります。また、次代を担う青年部や関係団体との連携を深め、地域全体の活力向上につながる取り組みにも積極的に関わっていく所存です。

商工会壮青年部は、自己研鑽の場であると同時に、地域商業の現場を支える実践組織であります。本年も部員一丸となり、地域に必要とされる存在であり続けられるよう、誠実に活動を重ねてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして健康で実り多き一年となりますことと、そして地域商工業のさらなる発展をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

貸上げ支援 キャラバン

近畿ブロック説明会・相談会のお知らせ

賃上げ支援施策の最新情報と経営相談を一度に受けられます。
説明会は同時オンライン配信が予定されています。(相談会は現地のみ)

日時 令和8年1月23日(金) 13:00~15:00 (予定)

会場 大阪合同庁舎1号館 第1別館2階大会議室

お問合せ 近畿経済産業局 産業課 ☎06-6966-6021



申込はこちら

令和7年分確定申告のお知らせ

所得税等の確定申告 ➡ 2月16日(月)~3月16日(月)
消費税等の確定申告 ➡ 3月31日(火)まで

ご自宅から e-Tax申告のご案内

確定申告はスマホからマイナンバーカードを利用したe-Taxが便利です
ご利用の際はマイナンバーカードに設定した2種類のパスワードが必要です

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| <p>令和7年分の確定申告情報をまとめています</p> | <p>国税庁LINE公式アカウントから確定申告の手続、情報の入手や確定申告会場の来場予約ができます</p> | <p>確定申告書はご自宅等のスマホやパソコンからe-Taxで作成・送信!</p> |
| <p>令和7年分確定申告特集</p> | <p>国税庁LINE公式アカウントの友だち追加</p> | <p>確定申告書等作成コーナー</p> |

峰山税務署の確定申告会場

開設期間 2月16日(月)~3月16日(月)
相談受付時間 9:00~15:00

- 本年から相談受付時間が15:00までになっておりますのでご注意ください。混雑状況によっては、早めに相談受付を終了させていただく場合があります。
- 会場への入場には「入場整理券」が必要です。当日、配付しますが、LINEを通じたオンライン事前発行も可能です。
- 原則、マイナンバーカードによるスマホ申告相談を行いますので、マイナンバーカード、マイナンバーカードの2種類の暗証番号(数字4桁の利用者証明用電子証明書、英数字6文字以上の署名用電子証明書等)スマホ及び申告関係書類をご持参ください。

峰山税務署 個人課税部門 ☎0772-62-0460 (代表) ※音声案内で「2」を選択